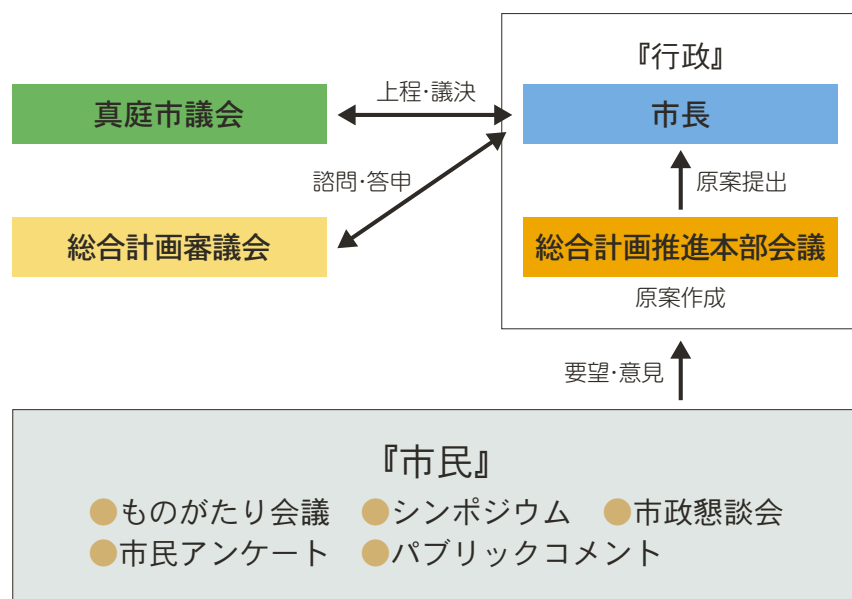


25年後の真庭を描く

真庭市が誕生して10年目…。経済の流動化や防災意識の変化など社会情勢は大きく変化しました。また、真庭市自体では、少子高齢化など社会構造が急速に変化する転換期にあり、豊かな生活を将来の真庭市民が続けていくことができるかは今の私たちに委ねられています。そのために現在、総合計画の策定を進めています。策定状況などについてお知らせします。

真庭市総合計画策定体制



真庭市総合計画 策定に向けて

総合計画は、多くの市民の皆さんの声を反映させるために、ワークショップ形式による市民参加型「ものがたり会議」や「総合計画策定シンポジウム」、「市政懇談会」など

で意見の集約や要望を整理してきました。また、「総合計画審議会」では、計画原案の内容の審議に合わせ、それぞれの立場から数多くの意見もいただいています。そして計画案が作成されたのちに真庭市議会に上程。議決を受け25年後の真庭を見据えた新たな計画が動きだすこととなります。

真庭市総合計画 の目的は？

持続可能なまちを目指し、市民一人一人の可能性と真庭市の「多彩性」を元に、現在と将来に向けて「やるべきこと」「できること」を一緒に考え、市民協働のまちづくりを進めていくために第2次真庭市総合計画を策定します。

なぜ総合計画が 必要なの？

総合計画では、25年後の真庭市のあるべき姿を念頭に、今後10年間にわたって、「達成しておきたいこと」「やり方」「方向性」などを示します。計画は、市役所だけでなく、真庭市に暮らしているすべての市民による「市民みんなのための道しるべ」なのです。そして、この計画に基づき、市民と行政が協働して地域経営を進めていくこととなります。



ものがたり会議

真庭市では、市の将来を一緒に考え、未来を描く市民を募集し、「ものがたり会議」を開催しました。ワークショップを5月から8回開催し、参加者の意見を取りまとめた提言書「山中八咲」を9月10日、市長に手渡しました。委員長として取り組んできた、市和真さんに話を伺いました。



いつか真庭に 貢献したい

ものがたり会議の委員長という大役を務めさせていただき、とても貴重な経験ができたと思います。真庭の現状を知り、さまざまな年代の人と交流がしたい、そして、将来真庭に貢献したいという思いから、ものがたり会議に参加させていただきました。予想を超えて、この会議への参加者は高校生と一般の参加者を合わせると60人という大勢の人が参加されました。異なる世代との交流を通して将来の真庭市について一緒に考えることができてとてもうれしかったです。

ものを描いたものです。真庭市総合計画には、私たちの意見を取り入れ、よりよいものにしていただきたいと思います。また、私たち若者がこれからの真庭市を引っ張っていくことが大切なことだと感じています。これからもいろいろな経験を重ね、それを真庭市をよくするために生かせるように頑張っていきたいです。



中国山地の中央に位置するこの真庭で八回にわたり市民が集まって、未来に花を咲かせようという思いが込められています。



ものがたり会議

委員長

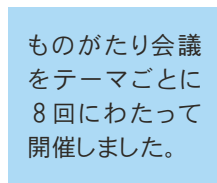
市和真さん(野川)

真庭高等学校落合校地 3年生

第2次真庭市総合計画 策定シンポジウム(6/22)



真庭市の将来像や可能性について活発な議論が行われた第2次真庭市総合計画策定シンポジウムは、約630人が参加しました。



ものがたり会議をテーマごとに8回にわたって開催しました。

総合計画審議会

真庭市では、ものがたり会議の提言書「山中八咲」や市民アンケートの結果などの市民の声を反映した総合計画を策定しています。そして、諮問機関として市内の有識者や各団体の代表など29人で組織された総合計画審議会に理念・目標や進捗状況について報告しています。会長の大月隆行さんに話を伺いました。

輝かしい未来の 真庭のために

7月に発足した総合計画審議会の会長という大役をさせていただいています。委員にはさまざまな分野を代表する29人の市民が選任されています。単に市が作った計画を審議するだけではなく、それぞれの立場から意見を述べる形で進めています。まだ途中の段階ですが、総合計画はいかに市民が分りやすく、そして参加できるものにするかが大きなテーマです。



真庭市総合計画審議会
会長
大月隆行さん(西原)

審議会は、25年後の人口推計を参考に、10年間の基本構想、5年間の基本計画の内容について7回の審議会を開催し、市に対して答申を行う予定です。

ものがたり会議には、経験豊富な人から17歳の高校生までの多くの参加があったと聞いています。高校生が25年後には42歳。高校生の参加があつたことは、非常に価値あることだと思っています。私は、若いときに都会に出て、真庭に帰ってきたことができるようにするために、受け皿をつくる必要があります。行政もそうですが、企業も基盤を作っていかなければなりません。現

在、地方に対する見方が変わってきています。多彩な真庭が実現できればと思います。総合計画には「真庭ライフスタイル」が提案されていますが、市民それぞれが誇りを持つて、真庭市で生活するということが大切だと思います。

真庭市ならではの個性と誇れる地域にしていかなければいけません。「真庭ライフスタイル」、「多彩性」、「回る経済」のように独自の視点を取り入れた真庭市総合計画が、光り輝く真庭の未来の役に立てるように尽力したいと考えています。



計画の新しい考え方 「真庭ライフスタイル」

多彩な真庭の豊かな生活

総合計画では、真庭市民の暮らしに焦点を当てており、真庭市民の暮らし方＝真庭ライフスタイルを提案しています。

「真庭ライフスタイル」とは、それぞれの市民が、時代や環境に合わせて、地域の資源の中から「真庭市で生きる価値」を見つけ、自分の手で作り上げていく「生き方」、誇りをもって生きていく「考え方」、互いを尊重した「暮らし方」です。そしてそれは、今の市民の生活に既にあるものなのです。

真庭市にとって一番大切なものは、市民一人一人の生活です。安心して安全に暮らせるまちで、自分や家族を大切に思い、自分にあった生活を市民が実現していることです。私たちは、25年後の真庭市に住む人たちの生活を今より豊かなものにしていかなければなりません。

皆さんの考えを聞かせてください

総合計画は、行政だけでなく、市民の皆さんも一緒になって行動していくための計画です。これまで、ものがたり会議や市民アンケートを通じて意見を伺ってきましたが、さらに広く意見を募集し、計画に反映させていきたいと考えています。積極的な意見をお待ちしています。

■公表資料

「真庭市総合計画（案）」、「山中八咲」、「市民アンケート」※市ホームページにこれまでの検討経過と資料を公表しています。

■入手方法

- ① 真庭市ホームページからダウンロード
- ② 総合政策課および振興局、各支局で配布

■意見の募集期間

11月上旬からの1カ月間を予定

※決定次第、告知放送などでお伝えします。

